

立命館大学大学院  
2025年度実施 入学試験

博士課程前期課程

社会学研究科  
応用社会学専攻

入試方式	実施月	社会学	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1~	
	1月	P.5~	
社会人入学試験	9月		
	1月		
外国人留学生入学試験 (RJ方式)	9月	P.1~	
	1月	P.5~	
学内進学入学試験	7月		
	9月		
	1月		
APU特別受入入学試験	9月		
	1月		
飛び級入学試験	1月	×	

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院  
2025年度実施 入学試験  
博士課程後期課程

**社会学研究科**  
**応用社会学専攻**

入試方式	実施月	社会学		外国語(英語)	
		実施・公開	備考	実施・公開	備考
一般入学試験	9月	P.2~		P.3~	
	1月	P.6~		P.7~	
社会人入学試験	9月	P.2~			
	1月	P.6~			
外国人留学生入学試験	9月	P.2~		×	
	1月	P.6~		P.7~	
学内進学入学試験	9月			×	
	1月			P.9~	

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程

## 社会学

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	前期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から3つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 想像の共同体
2. マックス・ヴェーバー (ウェーバー) の行為の四類型
3. シニフィアン/シニフィエ
4. スポーツイベントのレガシー
5. スポーツ・インテグリティ
6. 合理的配慮
7. 自由からの逃走
8. 再帰的プロジェクトとしての自己
9. イエロージャーナリズム
10. 地位の非一貫性
11. ユニバーサルデザイン
12. 階級と階層
13. 劣等処遇原則
14. 放映権料とスポーツ
15. ケアの倫理
16. 社会的排除
17. 資源動員論
18. ホーソン実験
19. 選択的受容理論
20. 出版資本主義

問2 次の4つの問題から1つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 「ラベリング」と呼ばれる逸脱現象の生成プロセスについて、「ラベリング」の具体例をひとつ挙げて説明しなさい。また、「ラベリング」という視点が従来の逸脱理論に対してどのような新規性を持っていたのかについて論じなさい。
2. 「移動論的転回 (mobilities turn)」とは何かを説明したうえで、それが有すると思われる社会学へのインパクトについて論じなさい。
3. メディア表象におけるジェンダー・バイアスをオーディエンスがいかに読み解くかについて、エンコーディング/デコーディング理論と具体例を用いて論じなさい。
4. 家庭的養護、虐待、不登校、依存などの課題は「愛着の形成不全」と関連づけられ、支援や制度にも影響を与えてきた。一方、愛着概念への過度な依拠には限界やリスクも指摘される。こうした支援の普及について、影響を整理し、その功罪と今後の課題を客観的に述べなさい。

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程

## 社会学

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	後期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から4つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 想像の共同体
2. マックス・ヴェーバー (ウェーバー) の行為の四類型
3. シニフィアン/シニフィエ
4. スポーツイベントのレガシー
5. スポーツ・インテグリティ
6. 合理的配慮
7. 自由からの逃走
8. 再帰的プロジェクトとしての自己
9. イエロージャーナリズム
10. 地位の非一貫性
11. ユニバーサルデザイン
12. 階級と階層
13. 劣等処遇原則
14. 放映権料とスポーツ
15. ケアの倫理
16. 社会的排除
17. 資源動員論
18. ホーソン実験
19. 選択的受容理論
20. 出版資本主義

問2 次の4つの問題から2つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 「ラベリング」と呼ばれる逸脱現象の生成プロセスについて、「ラベリング」の具体例をひとつ挙げて説明しなさい。また、「ラベリング」という視点が従来の逸脱理論に対してどのような新規性を持っていたのかについて論じなさい。
2. 「移動論的転回 (mobilities turn)」とは何かを説明したうえで、それが有すると思われる社会学へのインパクトについて論じなさい。
3. メディア表象におけるジェンダー・バイアスをオーディエンスがいかに読み解くかについて、エンコーディング/デコーディング理論と具体例を用いて論じなさい。
4. 家庭的養護、虐待、不登校、依存などの課題は「愛着の形成不全」と関連づけられ、支援や制度にも影響を与えてきた。一方、愛着概念への過度な依拠には限界やリスクも指摘される。こうした支援の普及について、影響を整理し、その功罪と今後の課題を客観的に述べなさい。

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻

## 外国語（英語）

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 外国語（英語） —（横書き）

以下の文章は、ジェンダー不平等のメカニズムについて述べられた文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

While theories offer general propositions, exploring mechanisms is key for understanding how gender inequality is (re)produced on the ground. One central mechanism through which gender inequality is implicated and reproduced in the workplace is the separate spheres ideology and (a) the ideal worker norm that it posits. The ideal worker norm portrays a worker fully devoted to the workplace and to work, with no competing demands, year-round. ①The ideal worker has no explicit gender. Yet, given that women bear most of the responsibility for domestic care, the time devotion and traits expected from the ideal worker are incongruent with women's gender role. Women are therefore less likely to be perceived as ideal worker for many jobs.

Time spent at work (physically or online) has long been a symbol of productivity and devotion of managerial and professional workers. The centrality of “face time” increases with the expansion of knowledge work and with rising demands for longer working hours at all organizational levels. Women, and especially mothers, are more likely to be evaluated as not committed enough to the workplace, which affects their hiring, promotions and pay. Managers' methods of controlling workers' physical and online time at work make it harder for women to pass as “ideal workers”. ②Consequently women are often pushed out of jobs they are skilled to do, or choose to apply to lower paying and lower prestige jobs, as they anticipate not being able to fulfill increased time demands alongside family needs. When family-friendly work choices are not an option in low paying jobs, the consequences of time demands are harsher for both parents.

The gender of the ideal worker is implicated also in the kind of traits perceived as right for successful leadership. Workplace organizations are often regarded as an arena for “doing masculinity (\*).” The ideal, successful worker and leader are described in stereotypically masculine traits as individualists, aggressive, authoritative, competitive, powerful, and rational. These definitions of merit affect the evaluation of women. Women are less likely to be hired to jobs described as requiring “assertiveness” and “independence,” and more likely to be hired to jobs described as requiring “cooperation” and “friendliness”. Once hired to male-dominated jobs, gender stands out and women experience lower evaluations. For example, women financial analysts are often viewed by clients as junior, regardless of their rank. And women case managers in micro-finance are less likely than men to secure client compliance. When women adopt so-called masculine traits, they face criticism and a lower valuation for not being feminine enough.

If success at work is a symbol of masculinity, women's success is likely to be perceived as a threat to that masculinity. Sexual harassment at work is used for “doing masculinity” by men demonstrating their power to other men, and as a tool for policing “appropriate” gender behavior among non-conforming men and women. Women in

supervisory positions are more likely to be harassed, as are women working in male-dominated industries. The experience of harassment has negative effects on women's wellbeing, performance at work and career attainment. Workplace responses to sexual harassment have not been effective. Grievance procedures(\*\*) are the most common organizational responses to sexual harassment. Although they allow women to complain, they usually lead to individualistic solutions rather than changing the organizational culture of gender power relations. Women who complain about harassment often find themselves isolated, retaliated against and removed from their position.

出典 : Kalev, Alexandra and Deutsch, Gal. "Gender Inequality and Workplace Organizations: Understanding Reproduction and Change." In *Handbook of the Sociology of Gender*, edited by Barbara J. Risman et al. 2nd ed. Cham: Springer International Publishing, 2018. (出典や参考文献の詳細を記載した注はすべて省略した)

(\*) "doing masculinity": 「男性性の実践」。「男らしい」とみなされる言動を実践することを指す。

(\*\*) grievance procedures: 苦情申し立て制度。

問 1 下線部①、②を和訳しなさい。

問 2 下線部(a)「理想的労働者規範 (ideal worker norm)」が持つ特徴はどのようなものか。また、その特徴はどのように職場のジェンダー不平等の再生産に関わっているか。本文の内容に即して説明しなさい。

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程

## 社会学

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	前期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から3つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. ニュース映画
2. ナショナル・ミニマム
3. ビッグデータとスポーツ
4. 複雑性の縮減
5. 培養理論
6. レジリエンス
7. 社会的養護
8. 第二波フェミニズム運動
9. 参与観察
10. ヘテロノーマティヴィティ
11. 都市開発とスタジアム (アリーナ)
12. コミュニケーション的行動
13. 構造化理論
14. 障害受容
15. スポーツとパワー・ハラメント
16. 集合的記憶
17. アーキテクチャ
18. エスノメソドロジー
19. ポストコロニアリズム
20. 公共性の構造転換

問2 次の4つの問題から1つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. シャドウ・ワークに対する社会的評価をふまえて、ワーク・ライフ・バランスについて批判的に論じなさい。
2. 人口減少に直面している農山漁村社会の持続可能性について、フード・セキュリティ (食の安全保障) という観点から論じなさい。
3. パブリック・アクセスの制度化がジャーナリズムにどう貢献できるのか。「言論表現の自由」「知る権利」の観点からマスコミによる報道の課題を具体的な事例とともに示し、パブリックアクセスのジャーナリズムに対する有効性を論じなさい。
4. 社会保障制度における普遍主義と選別主義の特徴及び長所と短所について論じなさい。

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程

## 社会学

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	後期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から4つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. ニュース映画
2. ナショナル・ミニマム
3. ビッグデータとスポーツ
4. 複雑性の縮減
5. 培養理論
6. レジリエンス
7. 社会的養護
8. 第二波フェミニズム運動
9. 参与観察
10. ヘテロノーマティヴィティ
11. 都市開発とスタジアム (アリーナ)
12. コミュニケーション的行為
13. 構造化理論
14. 障害受容
15. スポーツとパワー・ハラスメント
16. 集合的記憶
17. アーキテクチャ
18. エスノメソドロジー
19. ポストコロニアリズム
20. 公共性の構造転換

問2 次の4つの問題から2つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. シャドウ・ワークに対する社会的評価をふまえて、ワーク・ライフ・バランスについて批判的に論じなさい。
2. 人口減少に直面している農山漁村社会の持続可能性について、フード・セキュリティ (食の安全保障) という観点から論じなさい。
3. パブリック・アクセスの制度化がジャーナリズムにどう貢献できるのか。「言論表現の自由」「知る権利」の観点からマスコミによる報道の課題を具体的な事例とともに示し、パブリックアクセスのジャーナリズムに対する有効性を論じなさい。
4. 社会保障制度における普遍主義と選別主義の特徴及び長所と短所について論じなさい。

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻

## 外国語（英語）

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 外国語（英語） —（横書き）

以下は、ニュースについて述べられた文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

When anthropologists began to compare notes on the nature of communication in the world's few remaining primitive cultures, they discovered something unexpected. From the most isolated tribal societies in Africa to the most distant islands in the Pacific, people offered strikingly similar definitions of news. They shared gossip. They talked about their leaders. ①They even looked for the same qualities in the messengers they picked to gather and deliver their news: people who could run swiftly, gather accurate information, and retell it in an engaging way. While tastes have ebbed and flowed and news has been at times more or less serious, historians have discovered that the basic news values have remained relatively constant throughout time. "Humans have exchanged a similar mix of news ... throughout history and across cultures," historian Mitchell Stephens has written.

How do we explain (a) this continuity and consistency? The answer, historians and sociologists have concluded, is that news satisfies a basic human impulse. People have an intrinsic need—an instinct—to know what is occurring beyond their own experience, the events over the next hill. Being aware of events we cannot see for ourselves engenders a sense of security, control, and confidence. Understanding others is how we understand ourselves. One writer has called it "a hunger for awareness."

②One of the first things people do when meeting a friend or acquaintance is to share information. "Have you heard about ...?" We want to know if they've heard what we have, and if they heard it the same way. There is a thrill in a shared sense of discovery. We form relationships, choose friends, and make character judgements partly on the basis of whether someone reacts to information the same way as we do.

When the flow of news is obstructed, "a darkness falls" and anxiety grows. The world, in effect, becomes too quiet. We feel alone. The late John McCain, former US senator from Arizona and presidential candidate, wrote that in his five and a half years as a prisoner of war in Hanoi, what he missed most was not comfort, food, freedom, or even his family and friends. "The thing I missed most was information—free uncensored, undistorted, abundant information." In classes on news at SUNY Stony Brook (\*), students were put through news blackouts, cut off from all media. They began to wear clothes not suited to the weather, carry umbrellas unnecessarily, and became anxious.

Call it the Awareness Instinct.

News is how we learn about the world beyond our direct experience. It is how we discover what has occurred and what might happen next with friends, family, neighbors, and people around the country and the world. We need news to live our lives, protect ourselves, bond with each other, and identify friends and enemies. What we came to call journalism is simply the system societies generate to supply this information about what is and what's to come. News also helps us make sense of the world by adding more context and helping us answer new questions as we gather more information. That is why we care about the character of the news and journalism we get: News influences the quality of our lives, our thoughts, and our culture. News from its beginning created what technologists today call the "social flow" of information. Writer Thomas Cahill, the author of several popular books on the history of religion, has put it this way: You can tell "the worldview of a people ... the invisible fears and desires ... in a culture's stories."

出典 : *The Elements of Journalism (Revised and Updated 4<sup>th</sup> Edition)*, by Bill Kovach & Tom Rosenstiel, Crown (2021). (出典や参考文献の詳細を記載した脚注はすべて省略した)

(\*) SUNY Stony Brook: ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校。

問 1 下線部①、②を和訳しなさい。

問 2 点線部 (a) が具体的に意味していることを、本文に即して説明しなさい。

## 【2026年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻

## 外国語（英語）

## &lt;受験上の注意事項&gt;

## 1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

## 2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

## 3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

## 4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

## — 外国語（英語） —（横書き）

以下は、ニュースについて述べられた文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

When anthropologists began to compare notes on the nature of communication in the world's few remaining primitive cultures, they discovered something unexpected. From the most isolated tribal societies in Africa to the most distant islands in the Pacific, people offered strikingly similar definitions of news. They shared gossip. They talked about their leaders. ①They even looked for the same qualities in the messengers they picked to gather and deliver their news: people who could run swiftly, gather accurate information, and retell it in an engaging way. While tastes have ebbed and flowed and news has been at times more or less serious, historians have discovered that the basic news values have remained relatively constant throughout time. "Humans have exchanged a similar mix of news ... throughout history and across cultures," historian Mitchell Stephens has written.

How do we explain this continuity and consistency? The answer, historians and sociologists have concluded, is that news satisfies a basic human impulse. People have an intrinsic need—an instinct—to know what is occurring beyond their own experience, the events over the next hill. Being aware of events we cannot see for ourselves engenders a sense of security, control, and confidence. Understanding others is how we understand ourselves. One writer has called it "a hunger for awareness."

②One of the first things people do when meeting a friend or acquaintance is to share information. "Have you heard about ...?" We want to know if they've heard what we have, and if they heard it the same way. There is a thrill in a shared sense of discovery. We form relationships, choose friends, and make character judgements partly on the basis of whether someone reacts to information the same way as we do.

When the flow of news is obstructed, "a darkness falls" and anxiety grows. The world, in effect, becomes too quiet. We feel alone. The late John McCain, former US senator from Arizona and presidential candidate, wrote that in his five and a half years as a prisoner of war in Hanoi, what he missed most was not comfort, food, freedom, or even his family and friends. "The thing I missed most was information—free uncensored, undistorted, abundant information." In classes on news at SUNY Stony Brook(\*), students were put through news blackouts, cut off from all media. They began to wear clothes not suited to the weather, carry umbrellas unnecessarily, and became anxious.

Call it the Awareness Instinct.

News is how we learn about the world beyond our direct experience. It is how we discover what has occurred and what might happen next with friends, family, neighbors, and people around the country and the world. We need news to live our lives, protect ourselves, bond with each other, and identify friends and enemies. ③What we came to call journalism is simply the system societies generate to supply this information about what is and what's to come. News also helps us make sense of the world by adding more context and helping us answer new questions as we gather more information. That is why we care about the character of the news and journalism we get: News influences the quality of our lives, our thoughts, and our culture. News from its beginning created what technologists today call the "social flow" of information. Writer Thomas Cahill, the author of several popular books on the history of religion, has put it this way: You can tell "the worldview of a people ... the invisible fears and desires ... in a culture's stories."

出典 : *The Elements of Journalism (Revised and Updated 4<sup>th</sup> Edition)*, by Bill Kovach & Tom Rosenstiel, Crown (2021). (出典や参考文献の詳細を記載した脚注はすべて省略した)

(\*) SUNY Stony Brook: ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校。

問 1 下線部①、②、③を和訳しなさい。

Introduction from THE ELEMENTS OF JOURNALISM, REVISED AND UPDATED 4TH EDITION:  
WHAT NEWSPEOPLE SHOULD KNOW AND THE PUBLIC SHOULD EXPECT by Bill Kovach and Tom Rosenstiel,  
copyright © 2001, 2007, 2014, 2021 by Bill Kovach and Tom Rosenstiel.  
Used by permission of Crown Books, an imprint of the Crown Publishing Group, a division of Penguin Random  
House LLC. All rights reserved.